



認定 NPO 法人
世界の子どもにワクチンを 日本委員会

おかげさまで
創設30周年

JCV journal

2024 Summer Vol.23



海外支援情報

支援国の近況報告

ミャンマー連邦共和国

1996年から支援を続けているミャンマーでは、2021年のクーデターの混乱による大きな影響を受け、一時、90%前後もあったワクチン接種率が、40%前後にまで大きく低下してしまいました。しかし、UNICEFが地域コミュニティへの働きかけを継続して行った結果、徐々に接種率は回復し、2023年には、DPTワクチンが80%、はしかワクチンが93%まで向上しました。

一方、2023年からJCVが支援している少数民族の子どもたちへの接種は、ワクチンを届けるための関係団体との調整に時間がかかっていますが、2024年内には支援を届けられるよう、活動パートナーであるUNICEFの力を借りて調整を進めています。毎年生まれてくる子どもたちが少しでも取り残されないよう、できる限りの支援を届けてまいります。



© UNICEF Myanmar/2021/NHtet

バヌアツ共和国

バヌアツでは、新型コロナ感染拡大により、2020年まで子どもワクチン接種が予定通り実施できず、接種率が、はしかワクチンは80%(2019年)から50%(2021年)へ、ポリオワクチンは約90%(2019年)から約60%(2021年)へと落ち込みました。

また、昨年3月と10月にはサイクロンの被害を受け、定期ワクチン接種が予定通り行えない状況に陥るなど困難が重なる中で、すべての子どもにワクチンを届けるために、現地スタッフによる最大限の努力が続けられています。

現在、2019年以来5年ぶりの視察に向けて、現地UNICEF事務所との調整を進めていますが、今回は、これまでの視察で使用していた同国の航空会社の破綻による運行停止の影響で、国内の移動が制限されてしまう見通しです。

そのような状況ではありますが、ボートを利用した、首都ポートビラのあるエファテ島とその周辺の島のワクチン接種と保冷庫の状況確認と併せて、ワクチン接種率の改善に向けた取り組みと、今後必要な支援についての確認を行う予定です。



国内啓発活動情報

「Ceer Drive」キャンペーンスタート

シェアリングエコノミーサービス「Ceer Drive」とコラボし、「途上国の子どもにワクチンを贈るキャンペーン」を開始しました。皆さまがお持ちの自動車に指定のステッカーを貼って走行いただくことで、参加費の大半がCeer Driveを通して子どもワクチン支援に寄付され、同時にステッカーで活動をPRできるキャンペーンです。お申込みは9/15(日)まで、「Ceer Drive」アプリで受け付けておりますので、是非ご参加ください。(※応援走行期間は9/30(月)まで)



「#ハートアクション」キャンペーン開催のご案内

今年も9/15の「国際チャリティーデー」に合わせて、SNSへの「ハート」の投稿がワクチン支援につながる「#ハートアクション」キャンペーンを開催します。昨年は13の支援企業さまからご協賛をいただき、17,326件の投稿をいただきました。現在、キャンペーンのご協賛企業、タイアップイベントなどでキャンペーンを一緒に盛り上げてくださる企業さまを募集しています。詳細はメール (event@jcv-jp.org) にてお問い合わせください。(※特設ページは8月公開予定)

